



主 題	国際会長：Finn A.Pedersen (ノルウェイ)	“ Audere est Facere-To dare is to do 国際会長同じ主題「とにかくやろう - 成せば成る」 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」 「響き合い、ともに歩む」 「果敢にチャレンジ 1・2・3!!」
	アジア会長：Wichan Boonmapajorn (タイ)	
	西日本区理事：浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)	
	阪和部長：松本 三枝子 (大阪サウスクラブ)	
	クラブ会長：三木 求 (和歌山クラブ)	
会長=三木求 直前会長=東正美 副会長=阪口佳也 書記=土橋哲/東正美 会計=吉田絹恵/守田諒介		

10月 公開例会のご案内

日 時：10月20日(木) 18:30~20:30
場 所：和歌山YMCA 6階ホール
電話 073-473-3338
例会当番：神谷・正岡・撫養・森
司 会： 阪口 佳也
プログラム
会食/食前感謝 山名 隆次
開会宣言・点鐘 会長 三木 求
ワイズソング斉唱 ー 同
会長挨拶と会務報告 会長 三木 求
ハッピーバースデー
「紅茶の知識とおいしい楽しみ方」
紅茶アドバイザー 豊澤 たつみ 先生
(お話しの後、テーブル毎に紅茶を入れます。)
YMCA の歌 ー 同
閉会点鐘 会長 三木 求
* 出欠を、10月18日(火)までに太田三千子
ドライバー委員長へご連絡ください。
Tel/Fax 073-473-9378

会長メッセージ

和歌山クラブ 会長 三木 求

台風12号による被害 平成最悪!

9月3日、高知県東部に上陸し、その後岡山県南部に再上陸した超大型の台風12号により、西日本を中心に大きな被害をもたらしました。特に紀伊半島では記録的な豪雨に見舞われ、河川の氾濫、土砂崩れ等により多くの死者・行方不明者を出しました。

しかも、その際にできた「土砂ダム」により、その後の不安定な天候や台風15号による大雨の可能性で、「土砂ダム」決壊による土石流発生の危険な状態が続きました。

和歌山YMCAでは、早速「台風12号 和歌山県内 災害支援募金」を行い、和歌山クラブからも街頭募金に参加しました。

また、各地・各方面からのボランティアも現地に入り、復旧作業に従事していただいています。

一日でも早い復旧をお祈りいたしますと共に、同じ和歌山県での災害です。私たちも、精一杯復旧・復興に向けて支援させていただきます!

「台風12号 災害支援街頭募金」の報告

ブリテン委員 撫養美弥子

日 時:2011年9月16日(金) 15:30~17:30

場 所:JR和歌山駅 西・東口

和歌山クラブからの参加者:井之上・東(正)・撫養・吉田・吉本

当日、私はJR和歌山駅の東口で街頭募金をさせていただきましたのですが、小雨交じりのコンディションの悪い状況にも関わらず、大勢の方々が足を止めていただき、快く献金をしていただきました。中には5千円札を献金していただいた高校生もいらっしゃり、今回の募金は同じ和歌山県内の災害ということもあったのかもしれませんが、人の心の優しさ、思いやりを感じさせられた募金活動でした。

皆様、ありがとうございました。

なお、この日の街頭募金は、合計74,657円でした。

今月の聖句

兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって
互いに相手を優れた者と思いなさい。
ローマの信徒への手紙 12章 10節

10月 強調月間のポイント

使用済み切手は世界のワイズメンの理解と交流へ導く扉です。「当たり前」の事を「当たり前」に実行することが目標達成の一番の近道です。

ファンド事業主任 三牧 勉(大阪茨木)

9月	在籍	出席	マイクアップ	ネット	ゲスト	ビジター	出席率	BF	切手	現金	BF計
	24名							9月	0	9,230円	9,230円
	(広義 1)	21名	1名	5名	10名	4名	95.7%	累計	0	77,529円	77,529円

9月 委員会報告

書記 土橋 哲

日 時：2011年9月8日(木) 18:30~20:30

場 所：和歌山YMCA 501 教室

出席者：市川・太田・神谷・北・黒田・阪口・土橋・
中谷・東(正)・堀井・丸山・三木・撫養・
守田・山田・吉田・吉村・吉本

【協議・報告事項等】

1. 9月公開例会「東日本大震災 被災地支援活動報告」の進行打ち合わせを行った。
2. 三木会長より、①和歌山クラブでワイズエプロンを製作して販売する提案があった。②メネット事業国内プログラムは、東日本大震災復興支援YMCAリーダー・学生派遣支援補助金支援事業。
3. 吉田会計より、①8月公開例会「ワイズライフをメネットナイトで楽しもう！」の収支は15,000円の不足が生じるが、メネット会で対応をお願いする。
4. 阪口地域奉仕・環境事業委員長より、
①十勝 ジャガイモ・かぼちゃの申し込み締め切り。10月9日(日)8:30到着するように交渉する。クラブ会員等は、9:00集合 担当者は、それよりも早く集合。留学生アルバイト 2名 YMCAに依頼 8:45~11:45 一人3,000円
②第39回中学生英語暗唱大会
日時：9月24日(土)13:00~17:00
場所：和歌山市役所 14階
表彰状・額は神谷会員準備 盾は主催者が準備し費用を支払う。各4枚(個)
5. 神谷プログラム委員長より、
10月例会は「紅茶の知識とおいしい楽しみ方」豊澤たつみ先生 テーブルクロスをYMCAから借りる。ティーカップの準備にご協力下さい。
6. 東交流事業主査より、阪和部各クラブ例会のご案内があった。
7. 黒田連絡主事より、本年10月から来年3月までの半年間、仙台YMCAに出向します。その間代行として、小川スタッフが担当します。
8. 吉田カーニバル実行委員長より、
日時：10月23日(日) 10:30~15:00
場所：和歌山YMCA及び太田第2公園
和歌山クラブは一昨年同様、焼きそば・フランクフルト・おでん・ウーロン茶を担当します。
9. YMCA協力会費(年2万円)未納の方は早急に入金願います。
10. 第17回大阪YMCAチャリティーラン
日時：10月10日(月・祝) 場所：大阪城公園
抽選券事前販売の依頼あり、30枚 10,000円をクラブ予算で対応する。
11. BFデリゲート(BF代表)応募のご案内があった。
12. EF(エンドウメント ファンド)年間1,000ドル以上献金した会員に贈られるEFアイスバー

ク・ミメントを、神谷尚孝ワイズが受賞した。

13. 台風12号による被災地への支援については、被害の全容も把握できていないことから、支援させていただくという方向性を持ちつつ、しばらくの間、状況の推移を見守る。
14. 三牧ファンド事業主任が、和歌山クラブのBFデーに参加して現状を知りたいとのこと。
15. 今後、使用しなくなった携帯電話回収が注目されることになるので、使用しなくなった携帯電話でも大切に保管しておいてくださいとの説明あり。(神谷委員長から)
16. 堀井ファンド委員長より、7月24日に行った古紙の回収金額は、5,030円。ご協力に感謝申し上げます。

9月 公開例会の報告

書記 土橋 哲

日 時：2011年9月15日(木) 18:30~20:30

場 所：和歌山YMCA 6階 ホール

出席者(順不同) ゲスト：和歌山市役所 上野様・
山本様・星田様・西脇様・川西様・野村様
川崎マリ子様・上野様(新老人の会 会員 神谷ワイズのご紹介)

小川隆平様(和歌山YMCA)

ピジター：榎本美保子様・坂本智様・土肥正明様・
東雅子様(以上、和歌山紀の川クラブ)

和歌山クラブ：市川・井之上・太田・神谷・北・
黒田・阪口・土橋・中谷・東(正)・堀井・正岡・
丸山・三木・撫養・守田・山田・山名・吉田・
吉村・吉本

メネット：市川・神谷・正岡・高垣・平嶋

【報告事項等】(委員会報告と重複する事項を除く。)

1. BF古紙回収=10月15日/16日堀井会員宅
2. BFデー 11月13日(日)10:00~
市川一郎会員宅 当日は古紙を除く。
3. YMCAカーニバル役割分担
焼きそば=田中M・市川M・阪口・吉村・吉本・
東(正)・守田・東(秀)
おでん=神谷M・平嶋M・高垣M・正岡M・
中谷・撫養・
フランクフルト=三木・太田・北・山名・丸山・
正岡
ウーロン茶=市川・山田・堀井・土橋・森・岸本
パソコン占い=神谷
前日の準備:10月22日(土) 時間未定
*ウーロン茶葉のご寄付をお願いします。

「東日本大震災被災地支援活動報告」

最初に今回の9月例会は先般の台風12号で被災された方への黙とうで始まりました。

今年は本当に深い悲しみの災害が続きます。そのような状況のなか、今回の公開例会は和歌山YMCAお

よびワイズメンズクラブが行ってきた「東日本大震災被災地支援活動」の報告会として開催させていただきました。

参加者はゲストとして和歌山市役所から7名、その他2名、ビジターとして紀の川クラブから4名、会員27名、総勢40名。いつもよりたくさんの方に来ていただきました。

普段、私たちは「愛と奉仕」の理念をかかげ、様々な分野でボランティア活動を行っていますが、この未曾有の災害「東日本大震災」に関しては個々の関心がとても高く、義援金はもちろんのこと、その他、様々なボランティア活動を行ってきました。

そして今回は「東日本大震災支援活動」を風化させてはという思いから、またさらなるボランティア活動のモチベーションを高めるためにと、3スピーカーから報告を聞きました。内容は、

- ・連絡主事の黒田さんの報告
「和歌山YMCA介護科学生による現地ボランティア」
- ・和歌山YMCAスタッフ小川さんの報告
「和歌山YMCAボランティアスタッフによる元気回復体験キャンプ」
- ・和歌山クラブ吉本会員（和歌山市議会議員の報告）
「現地ボランティア体験」

どのスピーカーも口をそろえて言うことは被災地の変わり果てた現状と被災された方の深い悲しみ、心情です。その状況に本当に微力ながら貢献できる幸せに感動しました。特に「元気回復体験キャンプ」は心に深い傷を負った現地中高生への癒しプログラムは元気を回復していただくだけにとどまらず、もっとも大切な人としての「絆」が生まれた事例として、深い感動を覚えました。

これからも私たちはこころのこもったボランティア活動を通じ、より深い「絆」が形成されるように社会貢献をつづけていかなければならないでしょう！



市川：9月15日（木）今日は汗ばむ程暑かった。

去年も、こんなに暑かったのかな？

井之上：「がんばろう日本」を感じるいい報告に感謝です。

太田：黒田さん、小川さん、吉本さんの、東日本大震災の現地ボランティアの報告を聞き自然災害のこわさを改めて思いました。

神谷：東日本に加え、紀伊半島南部で被災されて方々に、私達は、どの様な支援が出来るのか・・・

北：大勢の方が集まりましてうれしく思います。ありがとうございます。

阪口：「地震を知り地震に備える」大変勉強になりました。

土橋：様々な支援活動の報告、勉強になりました。

東正美：今日の報告で改めて震災の大きさと、何をどのようにすれば支援活動になるのかをいろいろと考えてしまいました。一日も早い復興を、子供達に楽しい日々が戻りますように。

堀井：黒田様、学生ボランティアの方々、震災ボランティアに参加され、ご苦労様でした。感謝します。

丸山：東北大震災、紀伊半島の豪雨お見舞い申し上げます。

三木：大勢の方にご出席いただき貴重なお話をお聞きすることができました。ありがとうございました。

撫養：3月11日の瞬間が思い出され、悲しく思いました。たくさんのゲストに囲まれて、その中での黒田さん、小川さん、吉本さんの三者三様のお話は感銘を受けました。ありがとうございました。

守田：「被災地支援活動」について聞かせてもらいました。

山田：貴重な体験談、心して聞かせて頂きました。

山名：東日本大震災現地報告を聞かせて頂き、改めて大変な状況を知り深く考えさせられました。

吉田：ニュース等で知る範囲を超えた現地報告、自然災害がもたらす恐怖、復興にかかるだろう年月、私達にも必ず起こり得る災害、いろいろな事を考えさせられる報告でした。ボランティアに参加して下さいました方々、御苦労さまでした。

吉村：東日本大震災被災地は予想以上だったと聞きます。支援活動に行かれた方々に感謝致します。

吉本：私の報告に、貴重な時間を下さり感謝です。これからも頑張ります！

高垣：大震災の被災地を見舞い、現地ボランティアの活動、心にみのりのある事だったと思います。

平嶋：被災地の方々の一日も早い復興をお祈りいたします。

正岡：被災地支援活動の報告をお聞きし、絆の大切さを改めて感じました。紀南地域も早く復興し、東北で被災された方々に明るいニュースとして届く事を願っています。

第23回 阪和部会の報告

会長 三木 求

日 時：2011年9月23日(金・祝) 11:30～14:30
場 所：大阪南YMCA 4階
和歌山クラブ参加者：市川・神谷・東(正)・堀井・丸山・三木・吉田・吉村・平嶋・市川・神谷

現阪和部長を輩出しているクラブがホストとなり開催される阪和部会ですので、今年は松本三枝子阪和部長が所属する大阪サウスクラブにホストをしていただき、参加者総数140名のご参加を得て盛大に開催されました。

今回の会費は4,000円でしたが、その内500円を東北大震災の支援に充てられました。

部会は、4部で構成されており、部会のモデルケースとなるような進行で、パナーセレモニーを皮切りに松本部長の開会宣言、挨拶、末岡大阪YMCA 総主事、浅岡西日本区理事の来賓挨拶、そして各主査報告があり、お手本のような部会を開催されました。

第1部のセレモニーで、EF アイスパーク・ミメント(年間1,000ドル以上のEF 献金された方)を受賞された神谷尚孝ワイズが、浅岡理事から受賞の記念品を受け取られました。セレモニー終了後は、第二部の会食でお弁当をいただきました。

第三部は、ピアノとバイオリンの演奏があり、お弁当と一緒にいただいたビールの心地よい“酔い”もあり、うっとり聞き入ってしまいました。

ご準備や当日のお世話をいただいた鉄谷明実行委員長はじめ大阪サウスクラブの皆様、本当にありがとうございました。

和歌山YMCA 日本語科

第10回スピーチコンテスト報告

直前会長 東正美(国際交流委員長)

2011年9月3日(土) 6階ホールにて開催。

日頃の学習の成果を競うスピーチコンテストも10回を迎えました。今回は一次試験を通過した各クラスから3名ずつ計15名が参加しました。このスピーチは各自が作文を作成し、3分以内のルールを守り、日本語で発表します。5人の審査員の先生が厳正に選出した結果、第1位にMeyer Martin Dahlさん(ノルウェー)「偏見」、第2位劉瀟瀟さん(中国)「どんな時も希望を持つべきだ」、第3位馬璣さん(中国)「胃は戦っています」がそれぞれ受賞しました。

和歌山ワイズメンズクラブ賞(金3,000円)には、韓国からの留学生権起準(男性)さんを選ばせて頂きました。タイトルは「ありがとう先輩」です。彼は午前中YMCAで日本語を学び、午後は大阪体育大学でサッカーの練習をしています。生活の中にしっかりと目標があり、サッカー選手になると言う大きな夢の実現に向けて日々歩んでいます。頑張り！留学生。日本語を通して更に日本と和歌山を理解出来ますように。自分の言葉で話し、伝えることの難しさを私も学びました。和歌山クラブ参加者：東・吉村

第5回「虹の会」の報告

堀井祉文子

日 時：2011年9月9日(木)
場 所：紀伊高原ゴルフクラブ(伊都郡かつらぎ町)
出席者(敬称略)：合計14名(和歌山クラブから神谷・北・吉村・堀井)

主催者の大阪泉北クラブ 松野五郎会長のご挨拶に始まり、紀伊高原の標高550mのすばらしいロケーションの中でのプレイは、快適そのものでした。

午後からは、日差しも強くなりましたが、心地よい汗を流すことができました。

なお、OBペナルティーと会費の余剰金34,400円は、今回和歌山YMCAにご寄付いただくことになり、和歌山クラブの9月例会におきまして、和歌山YMCA 井之上芳雄総主事にお渡ししました。

10月 和歌山 Y's/YMCA 予定

- 1日(土)08:30～ ニコニコキャンプ
- 13:00～ 和歌山市スピーチコンテスト
- 18:30～ 紀の川クラブ例会
- 6日(木)17:00～ カーニバル実行委員会
- 11日(火) YMCA記念日 休館
- 13日(木)18:30～ 和歌山クラブ委員会**
- 15～16日(土日) BF古紙回収 堀井会員宅
- 17日(月)18:30～ 日本語科留学生歓迎交流会
- 19日(水)18:30～ YMCA合同理事会
- 20日(木)18:30～ 和歌山クラブ公開例会**
- 23日(日)10:00～ YMCAカーニバル
- 25日(火)19:00～ YMCA会員活動委員会

BC屏東クラブ 蔡 榮茂会長様よりお便り

(黄錦和様の訳文を、紙面の都合で要約して掲載しますことをお許し下さい。(神谷))

この度、台湾で挙行しましたアジア大会に熱烈的な参加を賜り感謝致します。大会中の三日間一緒に過ごし、いっそう友好を深められました。

ワイズの目標達成に共に努力しましょう。

9月4日に台風12号が紀伊半島に大きな被害をもたらしましたが、直ぐ連絡を保ち、和歌山ワイズの皆様はご無事であることを知り安心しました。会員家族皆様の健康とクラブ発展をお祈りします。

お誕生日おめでとう

- ★★★ 10月 2日 山名 隆次 様 ★★★
- ★★★ 10月 27日 丸山 健樹 様 ★★★

震災募金ファンド

9月分	4,200円	累計金額	25,400円
-----	--------	------	---------

メネット 震災ユース活動 支援募金

9月分	8,642円	累計金額	21,042円
-----	--------	------	---------